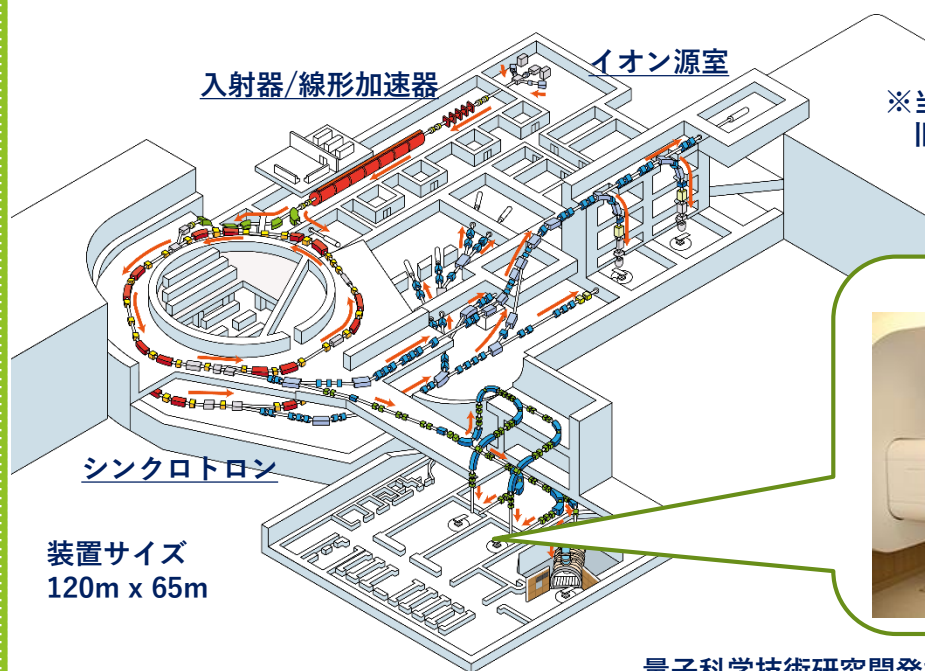


重粒子線がん治療 装置見学会

「春休み」に **放射線** を「知って、見て、体験」

中学校、高校の理科、技術・家庭科教員を対象に、放射線についての施設見学会を開催します。千葉県量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門にある世界初の重粒子線がん治療装置（HIMAC）の見学をはじめ、放射線を授業で教える際のポイントや簡単な実験方法などの講習を行います。奮ってのご参加をお待ちしております。



※当日は、イオン源室、ビームライン、旧治療室等の見学になります。



量子科学技術研究開発機構  HP掲載写真より作成

日時：2022年3月30日（水） 13時集合～17時解散 予定

集合・解散場所：JR総武線稲毛駅（千葉県） みどりの窓口前

会場：量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門

対象：主に中学校・高校の理科、技術・家庭科教員

参加費：無料 （先着8名にて締切）

主催：（一社）日本原子力産業協会

□ 実施スケジュール

時間	内容	備考
13:30 - 14:20	放射線の基礎知識	授業で使えるポイントを解説。
14:30 - 15:20	学校でできる実習体験 ・ 目で見える放射線（霧箱） ・ 放射線検出器の使い方	
15:30 - 16:20	施設見学 ・ 重粒子線がん治療装置	新型コロナウイルス感染対策のため、現在、治療に使用している治療室を除く、イオン源室、ビームライン、旧治療室等の見学となります。
16:20 - 16:30	アンケート	終了後、稲毛駅まで移動し、解散。

□ お申し込み方法

電子メール（宛先：jinzai@jaif.or.jp）にて以下についてご連絡ください。

- ✓ お名前
- ✓ 学校名と担当教科
- ✓ 当日連絡可能な電話番号

□ お問い合わせ先

日本原子力産業協会人材育成部 担当 土平(つちひら)、中村(なかむら)

TEL: 03-6256-9368 E-mail: jinzai@jaif.or.jp

昨年度参加者の感想

- ・ 放射線を視覚で捉えられるのは教育効果に大きくプラスになると感じました。
- ・ 装置開発をされた方ご自身が話しされるのは説得力があり、熱意に引き込まれました。
- ・ 百聞は一見・・・の諺につきます。本物を見てそれに触れることの大切さを感じました。
- ・ 科学的に正しく放射線を恐れるための授業を実践してみたいと思いました。
- ・ 大変わかりやすくお話しただけて、ありがたかったです。

※当日は歩きやすい履物でお越しください。また、マスクの着用をお願いします。
新型コロナウイルス感染予防策として、3つの「密」を避けて実施いたします。

◇ 新型コロナ感染の動向によっては、見学会を中止させて頂く場合があります。ご了承ください。